

# 全国高校生短歌大会

第5回

## 万葉の郷とつとりけん

大伴家持・山上憶良ゆかりの地で短歌を詠もう！

広すぎる竜の背中に飛び乗って  
ランチパックを分け合いましょう

アロエから音が聞こえた  
きゆうというアロエにしては女々しい声の

流暢な寝言のせいで  
目の前をシンカイウリクラゲが泳いだ

Illustration: 武田愛子

チーム部門 3人1組!  
個人部門 題は自由!

本戦大会審査員



大辻隆弘氏



穂村弘氏



江戸雪氏

令和5年11月4日(土)  
13:30~15:45  
とりぎん文化会館  
第1会議室

主催: 鳥取県 ※掲載した短歌は、第4回大会優勝チーム「豊立」(東京都立豊多摩高等学校・立教池袋高等学校)が決勝で披露した作品です。  
【題・作者】上から「広」佐藤 七海、「音」小幡 曜、「流」浪花 小模 ※ランチパックは山崎製パン株式会社の登録商標です。

出場  
チーム・作品  
募集!!

令和5年  
締切: 9月4日(日)まで

## チーム部門

## 募集内容

1チーム3名(複数校での編成OK)

題を入れた短歌を1人1首創作して応募

題: 先鋒「紙」 中堅「深」 大将「食」

## 予選

書面審査により、本選大会出場4チームと入選作品を決定(9月下旬予定)

審査員:

大森静佳氏  
歌人  
「塔」短歌会編集委員小島なお氏  
歌人  
「コスモス短歌会」所属  
2020年度「NHK短歌」選者

## 本選大会

日時: 令和5年11月4日(土) 13:30～ 対戦、表彰式  
15:00～ 短歌トークセッション

▶ 出場チームは、大会後の交流会 &amp; 万葉の郷ツアーに参加できます(無料)。

※交流会は、大会当日、本選大会審査員も交えて開催。

万葉の郷ツアーは、鳥取市内の万葉集ゆかりの地や鳥取砂丘周辺をご案内(大会翌日の午前中を予定)。

会場: とりぎん文化会館 第1会議室(鳥取県鳥取市尚徳町101-5)

審査員: 大辻隆弘氏 歌人、「未来」編集発行人・選者、現代歌人協会会員、現代歌人集会理事

穂村弘氏 歌人、歌誌「かばん」所属、日経新聞歌壇選者

江戸雪氏 歌人、「西瓜」同人、中之島歌会、2022年度「NHK短歌」選者

対戦方法: 4チームにより、トーナメント方式で準決勝2試合、決勝1試合の合計3試合を実施。  
先鋒・中堅・大将戦で、作者による短歌の発表後、本選大会審査員との質疑応答を経て、判定を行う。なお、参加者は万葉衣装を着用。

※準決勝は、予選に応募された作品により対戦する。決勝の題は募集要項に記載。

表彰: 優勝、準優勝、敢闘賞(2チーム)、入選(若干数)

※優勝、準優勝、敢闘賞には副賞(図書カード等)あり。

交通費: 交通費・宿泊費として上限150,000円/チームを支給

対象:  
全国の高校生

1人が両部門に応募OK

## 個人部門

新設!

## 募集内容

短歌(自由題)を1人1首創作して応募

審査員: 大辻隆弘氏、穂村弘氏、江戸雪氏、大森静佳氏、小島なお氏

表彰: 審査員特別賞(5名:審査員が1首ずつ選定)、入選(若干数)

※審査員特別賞は、大会当日の表彰式にて表彰を行う(副賞あり)。

本人来場の際は、交通費・宿泊費(上限50,000円)を支給し、交流会や万葉の郷ツアーにも参加可能。

## 応募方法

指定様式により、ウェブサイトから、または電子メールで申込み

※詳細は募集要項をご覧ください(ウェブサイトに掲載)。



締切 令和5年9月4日(日) 必着

## 応募・問合せ先

鳥取県地域づくり推進部文化政策課 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220 TEL. 0857-26-7843 FAX. 0857-26-8108  
E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp WEB. https://www.pref.tottori.lg.jp/tanka/ 万葉の郷とっとりけん 短歌大会

主催: 鳥取県

第21回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2023参加事業 とっとり県民カレッジ連携講座

後援: 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社  
時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局  
日本海テレビ BSS山陰放送 いなびょんぴょんネット 中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送株式会社(順不同)

鳥取県は、大伴家持と山上憶良、万葉集を代表する二人の歌人が国司として赴任した地です。家持が万葉集結びの歌を詠んだ地で、万葉衣装に身を包み、短歌を詠んでみませんか。

